

登録コード	SSG06607	開講年度	2026					
授業題目	特別研究（物質循環学ユニット）					担当教員	國頭 恭	
英文授業名	Special Research（Environmental Science Unit）					副担当		
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期			
講義室						備考	担当	地球システム解析講座・生態システム解析講座 各教員
信大コンベンション	該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】						【授業の達成目標】	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学							
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力						物質循環に関する専門的知識を得るとともに、研究遂行能力を養う	
(2)授業の概要	学生は、フィールドワークや実践を重視した研究計画を立て、独創性に富んだ成果を目指す。また、各種の学会での情報収集や研究発表を通じて、知識・研究意欲と能力を高め、国内的にも国際的にも高く評価される水準の研究を目標とする。							
(3)授業のキーワード	フィールド調査・研究, 情報収集能力, 分析能力, 情報発信能力							
(4)授業計画	フィールドワークや実践を重視した研究計画を自ら立案し、独創性に富んだ成果を目指す。 修士1年（12月頃）と2年の終盤（7月頃）に、口頭による中間発表を行う。 修士論文を最終学年の1月末に提出し、2月には公開で修論発表会を開催する。							
(5)成績評価の方法	指導教員のもとで計画した到達目標に達しているか否か、および研究成果の水準を審査の基準とし、最終試験では、論理的思考能力、表現力、問題解決能力、および修士課程における学生の成長度を評価の基準とする。目標達成度が90%以上を秀, 80-89%を優, 70-79%を良, 60-69%を可, 60%未満を不可とする。							
(6)成績評価の基準	下記の結果にもとづいて評価する。 ・研究をレビューし、 ・指導教員等とセミナーで議論し、 ・研究成果を修士論文としてまとめる。							
(7)事前事後学習の内容	研究計画をたてること、データが出たらすぐにまとめること、ゼミ発表の準備をすること。							
(8)履修上の注意	実験を計画的に進めること。							
(9)質問,相談への対応	研究室で直接行います。							
【教科書】	適宜、連絡します。							
【参考書】	適宜、連絡します。							